

令和7年5月13日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



インターハイ予選は創価に敗退!!
格上相手に通用するベースを上げていく!!

インターハイ予選は、創価高校(T3)に敗退!! 三年連続都大会出場ならず...

選手権&リーグ戦に向けて、個々のベースを **one rank** 上げていく!!

4月27日(日)ホームグラウンドで迎えたインターハイ予選初戦では、決して褒められるようなゲーム内容ではありませんでしたが、**青梅総合高校**に**7-0**と勝利し、中一日で二回戦**創価高校戦**を迎えました。創価高校には、昨年度から主軸で出場している選手が多く、発展途上のこの時期の片倉高校としては、このタイミングでの対戦では苦戦は必至でした。事前の情報では、前線に速く対人に強い選手がいてそこをターゲットにロングボールを入れるパワープレーと、強豪校の定石通りにサイドに速い選手がいてサイドアタックからクロスボールでゴールを狙うと聞いていました。このゲームでは、トレーニングしてきた **K's football style** が格上のチームにどれくらい通用するのか?大変楽しみでした。



🌐 二回戦は格上創価高校に挑む 🌐

前半、立ち上がりは優位に進めるも、ゲーム運びの不味さを露呈する。

初戦のゲーム内容では、創価高校にフィジカルで圧倒されるだろうと思っていましたが、片倉高校が立ち上がり早々に決定機を迎えました。前半は右サイドからの攻撃が多く、開始7分には素早いC KからG Kのファントムを誘いラッキーな形で先制します。その後も相手陣地でプレーする時間が長く、20分にはゴール前の混戦からシュートが決まり**2-0**とリードを広げます。このままでは終われない創価高校も、縦のボールを多用しD F陣に圧力をかけます。そこは、想定内であったのでしっかり対応していましたが、時間の経過とともに次第にボディーブローのように効き始めてきていたようです。特に前線の⑩の選手は身体能力が高く、彼の対応には随分と悩まされました。片倉高校も追加点を取るチャンスがありましたが、相手の必死の守備の前にゴールを奪うことはできません。ゲームの流れを変えたのは前半ラスト5分のところで起きたアクシデントからでした。右サイドで再三チャンスを作っていましたが、相手選手と交錯して足を負傷退場し交代。一番気を引き締めなければならない時間帯でしたが、その直後にカウンターから失点。三分後には、オフサイド崩れから連続失点とゲーム運びの不味さが露呈してしまい**2-2**で前半を折り返しました。



🌐 前半、幸先よく先制しリードを奪ったが... 🌐

個々のフィジカルでは完敗!! 格上チームと闘えるベースのアップと武器を作る!!

後半立ち上がりも、こちらがボールを持てる時間帯が続きましたが、中盤でボールを奪われショートカウンターで失点し、このゲーム初めてリードを許しました。しかし、その後もGKと一対一などチャンスを作りました。すると、右サイドから短いパス交換でペナルティエリアに侵入し同点ゴールを決め再びゲームは振り出しに戻りました。しかし、ここからは創価高校との個々の差を見せつけられます。こちらの楔へのパスをカットされてカウンターで失点すると、五点目はペナルティエリアの角から見事なシュートを決められ、最後はこの日大活躍の⑩にやはりスピードでサイドをぶち抜かれ失点し、**3-6**で敗退しました。



🏆 ボールを持てる時間帯もあり、格上チームに通用した部分もたくさんあった 🏆

勝ったチームが強い!! しかし、“K’s football style”は収穫多し!!

残念ながらインターハイ予選は支部大会で敗退し、三年連続都大会出場はなりませんでした。創価高校はその後の決勝でも勝ち上がり、都大会では**東大和南高校**を延長の末に破り、二次トーナメント目指して18日に**成立学園戦 (T!)**に挑みます。

チームは二週間この日に向けてトレーニングをしてきました。毎日、子どもたちと一緒にトレーニングしてきた **New football style** が垣間見られたゲームで、リスクを冒しても、今まで通りの **K’s football style** 真っ向勝負で創価高校に挑みました。恐らく、このゲームを見ていた人たちは高校サッカーの楽しさを十分満喫できたゲームだったのではないのでしょうか？

課題も見つかりました。格上チームと闘うためにはやはりフィジカル面を強化していかないとなりません。食事で体を大きくしなくてはなりません。フィジカルやスピード、テクニックには敵いませんが、判断のスピードを上げてスキルのレベルアップを図るトレーニングは諦めずに継続していかなくてはなりません。しかし、このゲームでは収穫もたくさんあり、更にその精度を上げていけるように早速チームはリーグ戦と選手権に向けて敗れた翌日から動き出しました。中間考査後直ぐに**T5**のゲームが控えています。リーグ戦初勝利を目指して準備をしていきます。

引き続き応援よろしくお願いたします。

<After the Game>

新入生12名が正式に合流して、トレーニングも活気を帯びてきました。都知事の打ち出した私学授業料無償化の影響で全都的に各部活動の部員数が激減していて、現場は非常に苦しい状況に陥っています。また、子どもたちが厳しく辛いことを避ける傾向は年々顕著になっています。私学との溝は年々大きくなっていくように感じますが、言い訳はしたくありません。公立高校の灯を私たち現場の人間が消さないように創意工夫しなくてはなりません。サッカーの仲間たちと手(足)を取り合って、引き続き「高校サッカー」を盛り上げていきたいと思ひます。